

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 5 年 7 月 20 日(2023.7.20)

【公開番号】特開 2022-32162(P2022-32162A)
 【公開日】令和 4 年 2 月 25 日(2022.2.25)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-034
 【出願番号】特願 2020-135681(P2020-135681)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 1 F

A 6 3 F 5/04 6 1 1 B

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 7 月 11 日(2023.7.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数種類の図柄がそれぞれ配列された複数のリールと、
 複数のストップスイッチと、

当選役が対応付けられた複数種類の当選種別のいずれかを抽選により決定する当選種別抽選手段と、

スタートスイッチの操作に基づき、前記複数のリールを回転制御し、回転している前記リールに対応するストップスイッチの操作に応じ、操作された前記ストップスイッチに対応する前記リールをそれぞれ停止制御するリール制御手段と、

30

特定の当選役の入賞を補助する補助演出を行うことが可能な有利区間、および、前記有利区間以外の遊技区間である非有利区間のいずれかに移行させるとともに、第 1 演出状態、および、前記第 1 演出状態より有利な第 2 演出状態を含む複数種類の演出状態のいずれかに移行させる演出状態制御手段と、

を備え、

前記当選種別には、前記非有利区間において前記有利区間への移行抽選が可能な有利区間抽選可当選種別と、前記非有利区間において前記有利区間への移行抽選ができない有利区間抽選不可当選種別とが含まれ、

前記当選種別には、第 1 当選種別と、第 2 当選種別とが含まれ、

前記第 1 当選種別は、前記有利区間抽選可当選種別であり、第 1 小役と、他の小役とが重複しており、

40

前記第 2 当選種別は、前記有利区間抽選可当選種別であり、第 2 小役と、他の小役とが重複しており、

前記複数のリールは、特定リールを含み、

前記複数のストップスイッチは、特定ストップスイッチを含み、

前記特定ストップスイッチは、前記特定リールに対応し、

前記リール制御手段は、前記ストップスイッチが操作された時点における前記リールの回転位置に対応する引き込み範囲内の図柄を有効ライン上に停止し、

前記第 1 当選種別が決定され、前記複数のストップスイッチが第 1 正解打順で操作され、かつ、前記特定リールにおいて第 1 タイミングで前記特定ストップスイッチが操作された

50

場合に、前記第 1 小役が入賞可能であり、
 前記第 1 当選種別が決定され、前記複数のストップスイッチが前記第 1 正解打順で操作され、かつ、前記特定リールにおいて第 1 タイミングと異なる不正解タイミングで前記特定ストップスイッチが操作された場合に、前記第 1 小役が入賞せず、
 前記第 1 当選種別が決定され、かつ、前記複数のストップスイッチが前記第 1 正解打順とは異なる不正解打順で操作された場合に、前記第 1 小役が入賞せず、
 前記第 2 当選種別が決定され、前記複数のストップスイッチが第 2 正解打順で操作され、かつ、前記特定リールにおいて第 2 タイミングで前記特定ストップスイッチが操作された場合に、前記第 2 小役が入賞可能であり、
 前記第 2 当選種別が決定され、前記複数のストップスイッチが前記第 2 正解打順で操作され、かつ、前記特定リールにおいて第 2 タイミングと異なる不正解タイミングで前記特定ストップスイッチが操作された場合に、前記第 2 小役が入賞せず、
 前記第 2 当選種別が決定され、かつ、前記複数のストップスイッチが前記第 2 正解打順とは異なる不正解打順で操作された場合に、前記第 2 小役が入賞せず、
 前記演出状態制御手段は、前記第 2 演出状態であり、かつ、前記第 1 当選種別が決定された場合に、前記第 1 小役を入賞可能な補助演出を実行させ、
 前記演出状態制御手段は、前記第 2 演出状態であり、かつ、前記第 2 当選種別が決定された場合に、前記第 2 小役を入賞可能な補助演出を実行させ、
 前記第 1 小役を入賞可能な補助演出は、前記第 1 正解打順と、前記第 1 タイミングとを報知する演出であり、
 前記第 2 小役を入賞可能な補助演出は、前記第 2 正解打順と、前記第 2 タイミングとを報知する演出であり、
 前記第 1 正解打順と前記第 2 正解打順とは等しく、
 前記第 1 タイミングと前記第 2 タイミングとは異なり、
 前記第 1 当選種別における他の小役のうち少なくとも 1 つの小役と、前記第 2 当選種別における他の小役のうち少なくとも 1 つの小役とは等しい遊技機。

10

20

30

40

50

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決するために、遊技機は、複数種類の図柄がそれぞれ配列された複数のリールと、複数のストップスイッチと、当選役が対応付けられた複数種類の当選種別のいずれかを抽選により決定する当選種別抽選手段と、スタートスイッチの操作に基づき、前記複数のリールを回転制御し、回転している前記リールに対応するストップスイッチの操作に応じ、操作された前記ストップスイッチに対応する前記リールをそれぞれ停止制御するリール制御手段と、特定の当選役の入賞を補助する補助演出を行うことが可能な有利区間、および、前記有利区間以外の遊技区間である非有利区間のいずれかに移行させるとともに、第 1 演出状態（例えば、通常演出状態）、および、前記第 1 演出状態より有利な第 2 演出状態（例えば、通常 A T 演出状態）を含む複数種類の演出状態のいずれかに移行させる演出状態制御手段と、を備え、前記当選種別には、前記非有利区間において前記有利区間への移行抽選が可能な有利区間抽選可当選種別と、前記非有利区間において前記有利区間への移行抽選ができない有利区間抽選不可当選種別とが含まれ、前記当選種別には、第 1 当選種別（例えば、当選領域 5 の当選種別「打順ベル黄 1」）と、第 2 当選種別（例えば、当選領域 11 の当選種別「打順ベル白 1」）とが含まれ、前記第 1 当選種別は、前記有利区間抽選可当選種別であり（図 6 参照）、第 1 小役（例えば、当選役「小役 1」）と、他の小役（例えば、当選役「小役 2 6」）とが重複しており、前記第 2 当選種別は、前記有利区間抽選可当選種別であり（図 6 参照）、第 2 小役（例えば、当選役「小役 3」）と、他の小役（例えば、当選役「小役 2 6」）とが重複しており、前記複数のリールは、特

定リール（例えば、左リール１１０a）を含み、前記複数のストップスイッチは、特定ストップスイッチ（例えば、ストップスイッチ１２０a）を含み、前記特定ストップスイッチは、前記特定リールに対応し、前記リール制御手段は、前記ストップスイッチが操作された時点における前記リールの回転位置に対応する引き込み範囲内の図柄を有効ライン上に停止し、前記第１当選種別が決定され、前記複数のストップスイッチが第１正解打順（例えば、打順１または２）で操作され、かつ、前記特定リールにおいて第１タイミング（例えば、図柄「黄BAR」を有効ラインA上に表示可能なタイミング）で前記特定ストップスイッチが操作された場合に、前記第１小役が入賞可能であり、前記第１当選種別が決定され、前記複数のストップスイッチが前記第１正解打順（例えば、打順１または２）で操作され、かつ、前記特定リールにおいて第１タイミングと異なる不正解タイミング（例えば、図柄「黄BAR」を有効ラインA上に表示不能なタイミング）で前記特定ストップスイッチが操作された場合に、前記第１小役が入賞せず、前記第１当選種別が決定され、かつ、前記複数のストップスイッチが前記第１正解打順とは異なる不正解打順（例えば、打順３～６）で操作された場合に、前記第１小役が入賞せず、前記第２当選種別が決定され、前記複数のストップスイッチが第２正解打順（例えば、打順１または２）で操作され、かつ、前記特定リールにおいて第２タイミング（例えば、図柄「白BAR」を有効ラインA上に表示可能なタイミング）で前記特定ストップスイッチが操作された場合に、前記第２小役が入賞可能であり、前記第２当選種別が決定され、前記複数のストップスイッチが前記第２正解打順（例えば、打順１または２）で操作され、かつ、前記特定リールにおいて第２タイミングと異なる不正解タイミング（例えば、図柄「白BAR」を有効ラインA上に表示不能なタイミング）で前記特定ストップスイッチが操作された場合に、前記第２小役が入賞せず、前記第２当選種別が決定され、かつ、前記複数のストップスイッチが前記第２正解打順とは異なる不正解打順（例えば、打順３～６）で操作された場合に、前記第２小役が入賞せず、前記演出状態制御手段は、前記第２演出状態であり、かつ、前記第１当選種別が決定された場合に、前記第１小役を入賞可能な補助演出を実行させ、前記演出状態制御手段は、前記第２演出状態であり、かつ、前記第２当選種別が決定された場合に、前記第２小役を入賞可能な補助演出を実行させ、前記第１小役を入賞可能な補助演出は、前記第１正解打順と、前記第１タイミングとを報知する演出であり、前記第２小役を入賞可能な補助演出は、前記第２正解打順と、前記第２タイミングとを報知する演出であり、前記第１正解打順と前記第２正解打順とは等しく、前記第１タイミングと前記第２タイミングとは異なり、前記第１当選種別における他の小役のうち少なくとも１つの小役（例えば、当選役「小役２６」）と、前記第２当選種別における他の小役のうち少なくとも１つの小役（例えば、当選役「小役２６」）とは等しい。

10

20

30

40

50